

12 研修・実習実績

(1) 研修実績

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

期 日	研 修 対 象 者		研修 人員	備考
	所 属	科 ・ 学 年 等		
H30.4～H31.3	警視庁刑事部鑑識課	検視実務研修	261	計14回
H30.4.6	警視庁刑事部刑事総務課	巡查刑事任用科修了者実務講習第99期	45	
H30.4.18	陸上自衛隊小平学校	第116期初級陸曹特技課程「警務」	30	
H30.4.23	警察大学校	初任幹部科第67期生等	27	
H30.4.24	東京医科歯科大学	医学部医学科第3学年	50	
H30.4.25	東京医科歯科大学	医学部医学科第3学年	50	
H30.5.21	警視庁刑事部刑事総務課	巡查刑事任用科修了者実務講習第100期	57	
H30.6.14	警視庁刑事部刑事総務課	新任刑事実務研修	49	
H30.6.28	日本大学	医学部医学科第4学年	58	
H30.6.29	日本大学	医学部医学科第4学年	57	
H30.7.4	警視庁刑事部刑事総務課	幹部刑事任用科修了者実務講習第8期	25	
H30.8.18	沖縄県警察本部	地域3課	1	
H30.8.19	沖縄県警察本部	地域3課	1	
H30.8.21	警視庁刑事部刑事総務課	巡查刑事任用科修了者実務講習第101期	63	
H30.8.22	陸上自衛隊小平学校	第117期初級陸曹特技課程「警務」	27	
H30.9.18	陸上自衛隊小平学校	第54期幹部特技課程「警務官」	25	
H30.10.26	警視庁刑事部刑事総務課	巡查刑事任用科修了者実務講習第102期	54	
H30.11.20	東京慈恵会医科大学	医学部医学科第3学年	54	
H30.11.21	陸上自衛隊小平学校	第51期上級陸曹特技課程「犯罪捜査」	15	
H30.11.22	東京慈恵会医科大学	医学部医学科第3学年	54	
H30.12.12	科学警察研究所法科学研修所	鑑定技術職員養成科72期研修生等	61	
H30.12.20	警視庁刑事部刑事総務課	幹部刑事任用科修了者実務講習第9期	48	
H31.1.15	陸上自衛隊小平学校	第35期幹部特技課程「犯罪捜査」	7	
H31.1.30	東京消防庁消防学校	第47期救急救命士養成課程研修生	52	
H31.2.5	東京地方検察庁	第72期第2班司法修習生	18	
H31.2.15	東京地方検察庁	第72期第2班司法修習生	27	
H31.2.20	科学警察研究所法科学研修所	鑑定技術職員養成科73期研修生等	67	
H31.2.25	警視庁刑事部刑事総務課	巡查刑事任用科修了者実務講習第103期	63	
H31.3.24	熊本大学	医学部医学科第4学年	1	

※養成施設等別研修者内訳

施設分類	研修人数	回数
医学部関係	324(4大学)	7
警察・消防・その他	1023(8団体)	35

(2) 監察医等実習実績

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

期 間	延日数	所属(大学・医療機関等)	人数
H.30.4.1 ～ H.30.4.30	4	北里大学医学部6年	2
H.30.4.1 ～ H.30.5.31	2	横浜市立大学大学院医学研究科法医学	1
H.30.4.1 ～ H.30.8.31	2	日本大学医学部6年	1
H.30.4.1 ～ H.30.10.31	5	筑波大学大学院法医学教室	1
H.30.4.1 ～ H.30.10.31	11	埼玉医科大学法医学	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	3	自治医科大学付属さいたま医療センター皮膚科	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	5	東京大学医学部医学系研究科法医学教室	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	9	千葉大学大学院医学研究院法医学	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	11	北里大学医学部法医学	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	10	国際医療福祉大学医学部法医学教室	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	7	聖マリアンナ医科大学法医学教室	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	5	亀田総合病院臨床病理科	1
H.30.4.1 ～ H.31.3.31	6	横浜市立大学大学院医学研究科法医学	1
H.30.4.25 ～ H.30.5.26	3	東邦大学医学部6年	1
H.30.5.1 ～ H.31.3.31	8	横浜市立大学医学部4年	3
H.30.6.1 ～ H.31.3.31	11	下総精神医療センター精神科	1
H.30.6.11 ～ H.31.3.31	6	順天堂大学医学部3年	2
H.30.7.30 ～ H.30.8.9	4	群馬大学医学部医学科5年	1
H.30.8.1 ～ H.31.3.31	24	独協医科大学医学部大学院医学研究科	1
H.30.8.27 ～ H.30.8.29	3	群馬大学医学部医学科6年	1
H.30.10.29 ～ H.30.11.2	5	奥多摩病院	1
H.30.11.1 ～ H.31.3.31	10	横浜市立大学大学院医学研究科法医学	1
H.30.11.26 ～ H.30.11.30	5	広尾病院	1
H.30.11.26 ～ H.30.11.30	5	多摩総合医療センター	1
H.30.12.3 ～ H.30.12.7	5	奥多摩病院	1
H.30.12.22 ～ H.31.3.31	6	下総精神医療センター 精神科	1
H.31.2.1 ～ H.31.3.31	2	東京都健康長寿医療センター	1
H.31.3.19 ～ H.31.3.31	2	筑波大学大学付属病院	1
合 計	179		32

(3) 検視官研修

警察大学校法医専門研究学生（警視庁及び各都道府県警察において検視業務に従事する技官・警視・警部）の法医学（検案・解剖）の実務研修受け入れ

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

期 間	実日数	所属（大学・医療機関等）	人数
H.30.5.7 ～ H.30.5.11	5	警察大学校（検視官研修） 春期C	21
H.30.5.14 ～ H.30.5.18	5	警察大学校（検視官研修） 春期A	19
H.30.5.24 ～ H.30.5.29	5	警察大学校（検視官研修） 春期B	20
H.30.9.26 ～ H.30.10.2	5	警察大学校（検視官研修） 秋期C	21
H.30.10.3 ～ H.30.10.10	5	警察大学校（検視官研修） 秋期A	19
H.30.10.15 ～ H.30.10.19	5	警察大学校（検視官研修） 秋期B	20
合 計	30		120

(4) 検視実務専科研修

関東管区警察学校検視実務専科学生（都道府県警察本部において、検視官の補助として勤務している者及び将来補助者になる予定の者並びに警察署において検視業務に携わる警部補、巡査部長）の法医学（検案）の実務研修受け入れ

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

期 間	実日数	所属（大学・医療機関等）	人数
H.30.7.17 ～ H.30.7.23	5	関東管区警察学校検視実務専科校外研修	35
H.30.11.12 ～ H.30.11.16	5	関東管区警察学校検視実務専科校外研修	35
合 計	10		70

13 平成 30 年（2018 年）研究業績

(1) 論文・著書

発表者	題名	誌名・年・巻(号)・頁
Mishima S, Suzuki H, Fukunaga T, Nishitani Y.	Postmortem computed tomography findings in cases of bath-related death; Applicability and limitation in forensic practice.	Forensic Sci Int. 2018; 282: 195-203.
Sakai K, Iwadate K, Matsumoto S, Takasu S, Kanto Y.	Exploration of predictive biomarkers for sudden unexplained cardiac death in nonelderly people: a case-control study with biochemical parameters related to heart failure.	Am J Forensic Med Pathol. 2018; 39: 41-45.
Sakai K, Saito K, Takada A, Hikiji W, Kikuchi Y, Fukunaga T.	Deaths associated with brotizolam poisoning from a single drug overdose: four reported cases.	Am J Forensic Med Pathol. 2018; 39: 82-84.
Kato S, Yanazaki M, Hayashi K, Satoh F, Isobe I, Tsusumi Y.	Fulminant group A streptococcal infection without gangrene in the extremities: Analysis of five autopsy cases.	Pathology International. 2018; 68: 419-424.
Mori S, Kimura S, Ro A, Hayakawa A, Funakoshi I, Fukunaga T, Mizukami H.	Two autopsy cases of rupture of the aorta by fistula formation after thoracic endovascular aortic repair and open stent-grafting on aortic arch aneurysm.	Cardiovasc Pathol. doi: 10.1016/j.carpath.2018.12.007. Epub 2018 Dec 21.
林紀乃	アトラス臨床法医学	中外医学社 ; 2018 ; p1-3. p6-9. p34-35. p37-39. p42-43. p45-50. p52. p54-56. p58-60.

(2) 学会発表等

発表者	題名	学会名等 (開催地)・開催年月日等
Hikiji W, Yamaguchi K, Ohno Y, Fukunaga T.	Acute fatal poisoning with brotizolam and salicylic acid.	24 th Congress of the International Academy of Legal Medicine(IALM). Abstracts. 2018; p190, Fukuoka, Japan.
Mori S, Mishima S, Ro A, Asakura K, Hayakawa A, Funakoshi I, Fukunaga T, Mizukami H.	An autopsy case of death by aorticopulmonary fistula after open stent-grafting for aortic arch aneurysm.	24 th Congress of the International Academy of Legal Medicine(IALM). Abstracts. 2018; p94, Fukuoka, Japan.
Hayakawa A, Kimura S, Suzuki H, Funakoshi I, Sakai K, Fukunaga T.	Reevaluation of changes in blood biochemical markers during postmortem interval.	24 th Congress of the International Academy of Legal Medicine(IALM). Abstracts. 2018; p130, Fukuoka, Japan.
Hideaki K, Kasumi T, Masaki Y, Satoshi T, Kyoka K, Osamu K.	An autopsy case of traumatic splenic injury associated with liver cirrhosis and congestive splenomegaly.	24 th Congress of the International Academy of Legal Medicine (IALM). Abstracts. 2018; p131, Fukuoka, Japan.
Mizukami H, Kobayashi M, Takeshita H, Hara S, Mori S, Kuriwa F, Fukunaga T.	Autopsy and genetic diagnosis of 21-hydroxylase deficiency with bilateral testicular tumors in a case under no medication for over one year.	24 th Congress of the International Academy of Legal Medicine(IALM). Abstracts. 2018; p158, Fukuoka, Japan.
Kobayashi M, Hashiyada M, Takeshita H, Mori S, Akane A, Fukunaga T, Mizukami H.	Identification of cardiac disease associated gene in sudden cardiac death using massively parallel sequencing.	24 th Congress of the International Academy of Legal Medicine(IALM). Abstracts. 2018; p117, Fukuoka, Japan.
朝倉 久美子, 呂 彩子, 高田 綾, 齋藤 一之, 木村 聡子, 佐々木 宗男, 小金井英希, 杉浦 弘明, 林 紀乃, 村井 達哉.	冠状動脈を含む全身性多発動脈瘤を認めた突然死の3剖検例.	第107回 日本病理学会総会. 2018; 107: p500, 北海道.
船越泉, 林紀乃, 朝倉久美子, 木村聡子, 氣賀澤秀明, 永井智紀, 阿部伸幸, 森晋二郎, 福永龍繁.	非外傷性膀胱破裂の一例.	第87回日本法医学会学術関東地方集会. 要旨集. 2018; p. 27, 東京.
森晋二郎, 木村聡子, 呂彩子, 早川輝, 船越泉, 福永龍繁, 水上創.	胸部大動脈ステント治療後に大動脈食道瘻を併発した剖検例.	第87回日本法医学会学術関東地方集会. 要旨集. 2018; p. 28, 東京.
鈴木秀人, 谷藤隆信, 木村聡子, 福永龍繁.	飲酒が関連した不慮の事故死の疫学調査(平成27年、東京都23区).	第53回日本アルコール・アディクション医学会学術総会. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 2018; 53: p. 105, 京都.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
木村聡子，鈴木秀人，福永龍繁，西谷陽子．	アルコール習慣飲酒者の異状死調査．	第53回日本アルコール・アディクション医学会学術総会．日本アルコール・薬物医学会雑誌．2018；53：p105，京都．
木村聡子，呂彩子，早川輝，朝倉久美子，菊地洋介，福永龍繁．	CADMに合併した急速進行性間質性肺炎の1剖検例．	第37回日本画像医学会．抄録集．2018；p90，東京．
木村聡子，齋藤一之，福永龍繁．	死戦期の体位性窒息が疑われたびまん性レビー小体病の1剖検例．	第1回日本法医病理学会学術全国集会．法医病理2018；24：p115-116，香川．
早川輝，高田綾，齋藤一之，朝倉久美子，菊地洋介，木村聡子，濱松晶彦，林紀乃．	好酸球性冠動脈周囲炎（梶原）における活動性冠動脈病変の分布—13突然死例の解析—	第107回日本病理学会総会．2018，北海道．
鈴木秀人	高齢者と法．	地域療養設計管理者養成プログラム講義．2018年1月．千葉．
鈴木秀人	検案の実際．	高知県医師会検案業務研修会．2018年11月．高知．
引地和歌子	死体検案業務の実際 - 監察医は語る．	大分県警察医会学術講演会．2018年6月．大分．
酒井健太郎	「解剖」を知る～そのとき慌てないために～	第27回東京都監察医務院公開講座．2018.11月．豊島区．
鈴木秀人	飲酒が関連した不慮の事故死について	第27回東京都監察医務院公開講座．2018.11月．豊島区．
(以下，教育活動)		
酒井健太郎	内因性急死．	関東管区警察学校検視実務専科講義．2018年7月．小平市．
酒井健太郎	生活反応・損傷・死因論．	関東管区警察学校検視実務専科講義．2018年11月．小平市．
引地和歌子	死体現象と死後経過時間．	関東管区警察学校検視実務専科講義．2018年6月，11月．小平市．
鈴木秀人	児童虐待・嬰兒殺．	関東管区警察学校検視実務専科講義．2018年7月，11月．小平市．
鈴木秀人	交通法医学	関東管区警察学校警部補任用科交通課程講義．2018年2月，6月，8月，10月，12月．小平市．

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
鈴木秀人	医師法③（異状死の取り扱い，死亡診断書・死体検案書，監察医制度）．	帝京大学医学部第4学年講義．2018年4月．板橋区．
鈴木秀人	検案と法医学解剖．	自治医科大学医学部第3学年講義．2018年1月．下野市．
氣賀澤秀明	内因性急死、交通外傷、死亡診断書・死体検案書記載実習．	杏林大学医学部 第4学年法医学講義．2018年9月～11月．三鷹市．
森晋二郎	監察医から見た変死体．	警察大学校警部任用科本課程第51, 52, 53 期刑事課程．2018年3月, 6月, 11月．府中市．
森晋二郎	監察医制度．	金沢医科大学医学部 第4学年法医学講義．2018年7月．石川．
森晋二郎	監察医制度．	弘前大学医学部 第4学年法医学講義．2018年11月．青森．
林紀乃	内因性急死．	警察大学校（法医研究科）研修．2018年4月, 9月．府中市．
林紀乃	監察医制度．	北里大学医学部 第4学年法医学講義．2018年6月．神奈川．
林紀乃	法医学と病理学．	日本大学医学部 第2学年病理学講義．2018年9月．板橋区
林紀乃	監察医制度．	杏林大学医学部 第4学年法医学講義．2018年11月．三鷹市．
菊地洋介	死後画像診断—その有用性および限界—．	北里大学医学部 第4学年法医学講義．2018年6月．神奈川．
菊地洋介	死後画像診断—その有用性および限界—．	慶應義塾大学医学部 第5学年法医学講義．2018年8月．新宿区．